

対象	小学校中学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学3・4年（上） 「のこしたいもの つたえたいもの」 ・昔から続く祭り
教科書	東京書籍等
掲載日	2015.10.12. 朝刊 12版 11面

この記事は^{あいちけんむけいみんぞくぶんかざい}愛知県無形民俗文化財

である^{ながくてし}長久手市の^{けいご}警固祭りの記事です。次の問いに答えましょう。

問1：この祭りの始まりはいつでしょう。

()時代

問2：どんなお祭りですか。

^{かざ}飾った()を

()に^{ほうのう}奉納して

^{てっぽうたい}鉄砲隊が()を

^{はっぽう}発砲するお祭り。

問3：祭りに^{さんか}参加する人の^{かつこう}格好はどんな格好で、参加者は何人くらいですか。

格好()

人数(約)人

発展：見出しに「^{はくりよくまんてん}迫力満点」とありますが、それはお祭りのどんなところから感じられるのでしょうか。

()の()から

迫力満点 火縄銃ごう音

県無形民俗文化財の長久手市の警固祭りが十一日、同市岩作地区で開



長久手で警固祭り

岩作オマント保存会の伊藤善彦会長は「今年は小雨で出発を少し遅らせたが、神社では予定通り披露できてよかった」と話していた。

(鶴飼哲也)

戦国時代に始まったとされ、飾った馬を神社に奉納して鉄砲隊が火縄銃を発砲する勇壮な祭り。足袋にもんぺ、はんでん姿の約二百五十人が地区を練り歩き、所々で一斉に空砲を鳴らした。集結場所の石作神社には多くの見物客が集まり、火縄銃の迫力を楽しんでいた。

かれ、火縄銃の「ごう音」が響き渡った。

地区を練り歩き、火縄銃を一斉に発砲する鉄砲隊の人たち―長久手市岩作で